

製品名: GCSc- γ ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11369

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	GCLC
別名	GCLC; GLCL; GLCLC; Glutamate--cysteine ligase catalytic subunit; GCS heavy chain; Gamma-ECS; Gamma-glutamylcysteine synthetase
遺伝子 ID	2729.0
SwissProt ID	P48506
免疫原	抗血清はヒト GCSc- γ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 266-315

背景

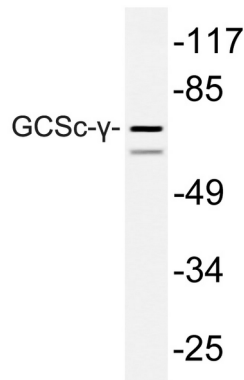
グルタミン酸システインリガーゼ (γ -グルタミルシステインシンターゼとも呼ばれる) は、グルタチオン合成における最初の律速

酵素です。この酵素は、重触媒サブユニットと軽調節サブユニットの2つのサブユニットで構成されています。この遺伝子座は触媒サブユニットをコードし、調節サブユニットは染色体 1p22-p21 に位置する別の遺伝子に由来します。この遺伝子座の変異は、 γ -グルタミルシステイン合成酵素の欠損による溶血性貧血および心筋梗塞に対する感受性と関連付けられている。[RefSeq 提供、2010年10月]、触媒活性: $\text{ATP} + \text{L-グルタミン酸} + \text{L-システイン} = \text{ADP} + \text{リン酸} + \gamma\text{-L-グルタミル-L-システイン}$ 。、疾患: GCLC の欠陥が溶血性貧血の原因である[MIM: 230450]。、酵素調節: グルタチオンによるフィードバック阻害。、経路: 硫黄代謝、グルタチオン生合成。 L-システインと L-グルタミン酸からグルタチオンを生成する: ステップ 1/2。、類似性: グルタミン酸-システインリガーゼ 3 型ファミリーに属する。、サブユニット: 触媒重鎖と調節軽鎖のヘテロ二量体。、

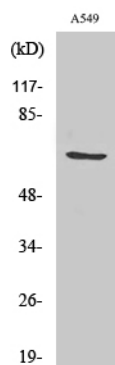
研究分野

グルタチオン代謝;

画像データ



GCS-c- γ 抗体を使用した A549 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



GCS-c- γ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析